

交通整理員が関係する事故が多発

近畿地建管内における直轄工事関係事故を平成7年度から平成10年度まで整理すると、交通整理員が関係する事故が43件(全件数の約20%)と多く発生しています。

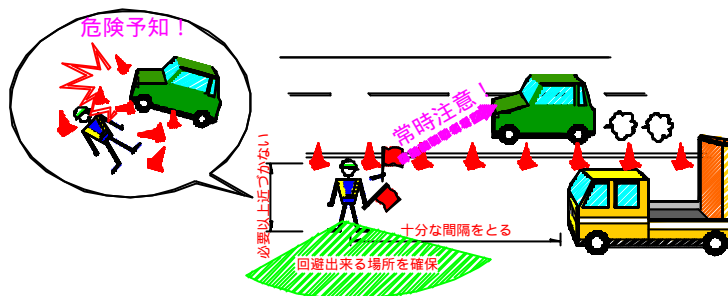
発生事故の内容は、現道工事における一般車等の誘導中に、第三者の不注意により交通整理員が被災する事故や交通整理における誘導位置・誘導方法等に若干の配慮不足、不備等があり被災する事故が見うけられます。此等のことから、交通整理員がより安全でかつ適切な誘導等を行うため、下記の事項を参考に朝礼等で**交通整理員に対する安全教育・安全訓練等**を行う必要が生じています。

安全教育(危険予知・迅速な回避行動等)を再度実施する。

実地訓練(確実な誘導・車両との安全離隔距離)の実施と実地訓練についての理解度を**確認**する。

交通整理員全員に**作業手順の周知徹底**を図る。

交通整理員は安全な位置(歩道等)で交通誘導を行う。



5月の事故速報

(平成11年5月31日現在)

発生日時	発生場所	事故の状況
5月6日 15:00	京都府	情報BOX設置工事において、両側2車線のうち1車線を200~300m程度規制し、舗装の切断作業中、規制区内を走行していた一般車(軽乗用車)が運転手の居眠り運転のため、規制区域内に進入し、作業用の2tトラックに追突した。 〔物損(2tトラック 前部損傷)〕
5月13日 17:00	京都府	橋梁下部工事に伴い、作業所への仮設進入路を設置し、出入口に交通整理員を配置していたが、府道から仮設進入路へ左折しようとした一般車(ライトバン)に後続の一般車(ライトバン)が前方不注意のため追突、その際追突されたライトバンが押し出され、交通整理員に接触し、交通整理員が負傷した。 〔左鎖骨・肩甲骨骨折、胸部打撲等 全治1ヶ月〕
5月19日 7:10	大阪府	歩道橋塗装工事において、橋梁塗装部の養生・保護のため養生シート・防護ネットを設置していたが、風雨等により結び目がゆるみ、垂れ下がっていた防護ネットに走行してきた一般車(11t貨物車)の屋根部が引っかかり一般車の上部が破損した。 〔物損(貨物車 前部損傷)〕
5月20日 3:30	滋賀県	歩道設置工事において、路肩部分の規制を実施していたところ、規制内を走行していた一般車が急ブレーキをかけたため後続の一般車(乗用車)がこれを回避しようと左ハンドルを切ったが停止できず、規制内に仮置していた仮設ガードレール用のブロック基礎に衝突した。 〔物損(乗用車 前部損傷)〕
5月20日 11:20	奈良県	給水等設備工事において、公園内の園路(急勾配)で給水管を布設後、かきこみ砕石により埋め戻しを行っていたが、通行中の第三者が園路に散らばった砕石に足を滑らせ転倒、負傷した。 〔膝下部骨折 全治2ヶ月〕
5月25日 13:40	滋賀県	歩道設置工事において、片側交互交通で交通規制を行い既設の舗装コンクリートを取り壊し作業中、工事用車両(2tタンク)が搬出のため規制区域内から車道へ出たところ、交互相行の先頭を走行してきた一般車(乗用車)の左側面に接触した。 〔物損(乗用車 左側面一部損傷)〕
5月25日 16:45	兵庫県	道路維持作業において、維持作業車により巡回作業中、落下物を発見し回収するため停車したところ、後方より走行してきた一般車2台のうち、前走車は作業車を認めて回避したが、後続の一般車(6tトラック)は作業車に気付くのに遅れ作業車に追突した。 〔物損(作業車 後部一部損傷)〕
5月27日 5:30	兵庫県	情報BOX設置工事において、既に施工済みであったハンドホール蓋が、セミトレーラー走行中に何らかの原因により浮脱して車輪に巻き込み、セミトレーラーの一部が破損した。 〔物損(セミトレーラー 工具箱・防護パイプ損傷)〕